

## 【いざ、全国へ!!】

☆1月25日、瑞浪市役所にて、全国大会出場への激励会が開かれました。対象者は以前の記事でも取り上げましたが、スピードスケートの保母 唯羽さん（1年生）です。2月4日が1000m、5日が500mのレースがあります。中学生として初の全国大会出場です。自分なりのベストを目指し、今後につながるレースとなることを祈念しています。頑張れ!!



### 【追伸】

◇結果については、1000m、500mともに自己ベストが出せたという情報が入りました。全国大会に出場しての学びはとても大きかったと思います。更に高い目標に向かって頑張ることを期待します。(YouTubeで試合の様子を見ることができます。私もその画像を見ました。)

## 【風情ある響き…箏演奏へのステップ】

☆箏は奈良時代に中国、当時の唐から日本に伝わり、雅楽の伴奏楽器として演奏されたのが始まりと言われており、**その特長としては、時には凛として力強く、ときには繊細で柔らかな音色を響かせる**そうです。「凛として」という表現は、箏の特長として検索すると、殆どの結果に位置づいています。「凛とする」とは、「力強くきりっとした様子や程よい緊張感が漂う様子、リリしくひきしまった様子」という意味です。「雰囲気が」、「空気感が」、という主語が当てはまるでしょうか。

その伝統・風情ある「箏」の学習が音楽の授業の中で、全学年において実施されました。授業時間数の少ない音楽の授業の中で、多くの時間を割くことはできません。そこで、触れる、慣れる段階から、演奏するという段階を3年間で構成し、3年生では「さくらさくら」を弾き合わせることを目指しています。

生徒たちは、どの学年も積極的に取り組み、楽しそうな姿を見ることができました。

【写真は次ページです】

**【1年生】**



**【2年生】**



**【3年生】**

